



神を仰ぎ、人に仕う

Chapel News

2015年12月

No.14

「4週のともしび」



「夜が明け、明けの明星があなたがたの心の中に昇るときまで、暗い所に輝くともし火として、どうかこの預言の言葉に留意してください。」

(ペトロの手紙二 1章19節)

クリスマスは、闇のこの世の中に永遠の光としての神の御子イエス・キリストが到来し、私たちに生きる希望と力を与えてくれる時です。古来クリスマスを迎える季節4週間のアドベント(待降節)に、毎週1本ずつロウソクをともし習慣がありました。この1本1本に、名前がついております。第1週“Hope”のともしび、第2週“Peace”のともしび、第3週“Joy”のともしび、第4週“Love”のともしびです。これらのロウソクの色は、待降節の典礼の色を表すべく薄紫が使われます。それは忍耐と待望の色であり、待降節は主イエス・キリストがお生まれになるまで神の民がしたように、私たちが主イエス・キリストが再び私たちに会われるまで忍耐と練達と希望の時を生きる季節だからです。神の御子は天上で生まれ、ひとりの女子マリアに生まれ、そして私たちを含むすべての者の心にお生まれになり、お姿を顕わされるのです。

待降節は、私たちにその真理を教え、私たちに実践的にその訓練をさせてくれる季節なのであります。なおアドベントのロウソクの色は前述のとおり一般に薄紫ですが、第3週のロウソクのみはクリスマスの喜びの先取りとして、“Joy”にふさわしく、喜びの桃色のロウソクが使われることがあります。そしてクリスマス当日には、神の子を象徴する大きな純白のロウソクが4本のロウソクの中心におかれ、火がともるのです。

(学校法人聖学院理事長、院長 阿久戸光晴)

2015年度年間聖句

知恵を得ることは金にまさり
分別を得ることは銀よりも望ましい。

箴言 16章16節

12月月間聖句

「いと高きところには栄光、神にあれ、
地には平和、御心に適う人にあれ。」

ルカによる福音書 2章14節

聖学院教会祈禱会

毎週木曜日 18時40分～19時40分、緑聖ホールC室にて行っております。
どなたでも自由にご参加ください。

- ・12月10日(木) ヨナ書 2章 菊地 順チャプレン
- ・12月17日(木) ヨナ書 3章 東野 尚志牧師

全学礼拝期間について

2015年度秋学期の全学礼拝は、下記日程で行っています。毎週火曜日から金曜日(授業期間)、14時40分から15時10分です。どなたでも自由にご参加ください。

秋学期/2015年9月29日(火)～2016年1月22日(金)

主の祈り

天にましますわれらの父よ
 ねがわくはみ名をあげさせたまえ
 み国をきたらせたまえ
 みこころの天になるごとく
 地にもなさせたまえ
 我らの日用の糧を今日も与えたまえ
 我らに罪をおかすものを我らがゆるすごとく
 我らの罪をもゆるしたまえ
 我らをこころみにあわせず 悪より救い出^{いだ}したまえ
 国とちからと栄えとは 限りなくなんじのものなればなり



アーメン

12月8日(火)

奨励者 生原 美典
 (日本基督教団 松原教会牧師)
 司会者 菊地 順
 奏楽者 渡辺 善忠

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 132 番 1、2、3 節
 聖 書 マタイによる福音書
 5 章 43～48 節(新約 P.8)

祈 禱
 奨 励 「敵を愛しなさい」
 祈 禱
 讃美歌 132 番 4、5 節
 主の祈り
 後 奏

12月9日(水)

奨励者 土方 透
 (政治経済学科教授)
 司会者 山口 博
 奏楽者 松本 周

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 112 番 1、2、3 節
 聖 書 ルカによる福音書
 2 章 1～14 節(新約 P.102)

祈 禱
 奨 励 「もろびとこぞりて」
 祈 禱
 讃美歌 112 番 4、5 節
 主の祈り
 後 奏

12月15日(火)

奨励者 東野 尚志
 (日本基督教団 聖学院教会牧師・
 大学附属みどり幼稚園チャプレン)
 司会者 阿部 洋治
 奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 讃美歌 21 271 番 1、2 節
 聖 書 コリントの信徒への手紙 二
 8 章 9 節(新約 P.334)

祈 禱
 奨 励 「クリスマスを迎える心」
 祈 禱
 讃美歌 讃美歌 21 271 番 3、4 節
 主の祈り
 後 奏

12月16日(水)

～クリスマス礼拝1のご案内～

説 教 「仕える人になる」
 児島 康夫 先生
 (キングス・ガーデン埼玉理事、
 川越キングス・ガーデン元施設長)

対象学科 児童学科
 こども心理学科
 人間福祉学科

時 間 10 時 30 分 開場
 10 時 50 分 開始
 11 時 50 分 終了
 (受付終了 10:45)

場 所 チャペル

* 12 月 16 日の全学礼拝は
 クリスマス礼拝と合流します。

12月10日(木)

奨励者 横山 義孝
 (社会福祉法人児童養護施設ホザナ園理事長)
 司会者 阿部 洋治
 奏楽者 今村 優子

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 124 番 1、2 節
 聖 書 フィリピの信徒への手紙
 2 章 6～11 節(新約 P.363)

祈 禱
 奨 励 「イエスは主である」
 祈 禱
 讃美歌 124 番 3、4 節
 主の祈り
 後 奏

12月11日(金)

— 学生の証し —

司会者 松本 周
 奏楽・讃美リード
 SCF(聖学院院クイズチャン・フェロシッパ)

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃 美 “その日全世界が”
 SCF による讃美奉献 “求めて”
 聖 書 詩編 23 編 1～4 節
 (旧約 P.854)

祈 禱
 証 し 「永遠のいのち」
 菊地 永(112C)

祈 禱
 讃 美 “その日全世界が”
 主の祈り
 後 奏

12月17日(木)

～クリスマス礼拝2のご案内～

説 教 「逃げまどう人々の中で」
 佐藤 真史 先生
 (日本基督教団東北教区被災者支援センター・
 エマオ専従者、いずみ愛泉教会副牧師)

対象学科 政治経済学科
 コミュニティ政策学科
 欧米文化学科
 日本文化学科

時 間 14 時 10 分 開場
 14 時 30 分 開始
 15 時 30 分 終了
 (受付終了 14:25)

場 所 チャペル

* 12 月 17 日の全学礼拝は
 クリスマス礼拝と合流します。

12月18日(金)

奨励者 山口 博
 (副院長・キリスト教センター所長・
 児童学科、こども心理学科担当チャプレン)
 司会者 柳田 洋夫
 奏楽者 清水 貴子

◆ ◆ ◆

前 奏
 讃美歌 94 番 1、2 節
 聖 書 イザヤ書 8 章 16 節～9 章 6 節
 (旧約 P.1073)

祈 禱
 奨 励 「苦難と闇に光が輝いた」
 祈 禱
 讃美歌 94 番 3、4 節
 主の祈り
 後 奏